「JPシート解説 数値置き換え表記系」

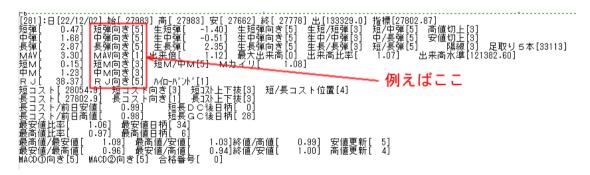
IPシートの「読み取り」機能で表示される数値について解説します。



JPシートを使い売買サインを作る上で覚えておかないといけない数値がいくつかあります。

それらについて解説していきます。

■向きについて



向きは弾性値や、生弾性値、MAV指標、M指標、コスト移動平均を描いたときに、上を向いているか、下を向いているか、下向きから上向きに変化した瞬間(V字)、上向きから下向きに変化した瞬間($\dot{\psi}V$ 字)を調べる時に使います。

例えば、短弾(短期株価弾性値のこと)が上向きなのか、下向きなのか、V字なのか、 逆V字なのかです。 これら向きをIPシートでは、数値で表現しています。

上向き・・・1

下向き・・・3

下向きから上向きに変化した瞬間(V字)・・・4

上向きから下向きに変化した瞬間(逆V字)・・・5

この枠内の例だと、

```
[281]:日[22/12/02] 始[ 27983] 高[ 27983] 安
                            生短弾[
生中弾[
生長弾[
               短弾向き[5]
中弾向き[5]
         0.47]
         1.68]
                                       -0.8
               王弾向き[5]
長弾向き[1]
長弾[
         2.871
                                        2.
                           出来倍[
         3.30]
MAV[
               短M向き[3]
中M向き[3]
         0.151
                             短M/中M[5]
短Mi
ΦМΙ
         1.23]
              | R U向き[5]| Ma-Mi/Mi[1]
        38.37]
  Jſ
短コスト[28054:8] 短コスト向き[3] 短コ
```

短弾向き[5]・・・逆V字 中弾向き[5]・・・逆V字 長弾向き[5]・・・ 逆V字 MAV 向き[1]・・・上向き 短M向き[3]・・・下向き 中M向き[3]・・・ デロき R I 向き[5]・・・逆V字

を表しています。

なぜ、こんな数値を使うのかというと、Windows 版の J P ソフトの前、MS-DOS 版の J P ソフトにまで遡ります。

MS-DOS という OS は色々制限があり、「上」という表現より「1」という数値で表したほうが、メインメモリを多く消費しないという法則がありました。

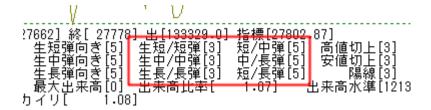
その流れを Windows 版にも組み込んだため数値表現となって現在に至ります。

Windows 版の J Pソフト作成時に変更すれば良かったのでは?と思いますが、今まで MS-DOS 版の J Pソフトの数値表現に慣れていたユーザー様が戸惑う事もあり、そのまま踏襲することになりました。

今のところ、変更する予定はないので、こればかりは覚えて慣れてもらうしかありません。

■位置関係について

生短弾と短弾とか、短弾と中弾とか2本の線の位置関係を表したものです。 例えば下記の項目です。



「生短/短弾」とは、生短期弾性値と短期弾性値の位置関係を数値で表したものです。

生弾が短弾を上抜けた瞬間・・・1

生弾が短弾を下抜けた瞬間・・・3

生短が短弾より上にある・・・4

生短が短弾より下にある・・・5

A/Bの場合 Aが基準となります。

AがBを上抜けた瞬間・・・1

AがBを下抜けた瞬間・・・3

AがBより上にある・・・4

AがBより下にある・・・5

*

最高値/最安値とか、終値/高値とかは比率なので、位置関係ではありません。 同じ[/]が間に入っていますが、こちらは÷の意味です。

■切り上げ、ローソク足型

高値切上について

高値が前日に比べ当日のほうが高い場合・・・1 切り上げの意味高値が前日に比べ当日のほうが安い場合・・・3 切り下げの意味

安値切上について

安値が前日に比べ当日のほうが高い場合・・・1 切り上げの意味 安値が前日に比べ当日のほうが安い場合・・・3 切り下げの意味

| 指標[27802.87] | 短/中弾[5] | 高値切上[3] | 中/長弾[5] | 安値切上[3] | 短/長弾[5] | 陽線[3] 足取り5本[33113] | 1.07] | 出来高水準[121382.60]

陽線

陽線の場合・・・1 陰線の場合・・・3

足取り5本

当日を含まない過去5日について、陽線(1)か陰線(3)かを表現したもの

上記の枠内の例だと、

高値が切り下げている、安値が切り下げている 陰線である

当日を含まない過去5日間の足型は、 陰・陰・陽・陽・陰である

という意味になります。

陽線が「1」で、足取り5本が「11111」という表示だった場合、 6連続陽線となります。

「足取り5本」についてJPシートで設定する場合、5本も必要ない事もあるかと思われます。

その場合「2」と入力すれば、その日は無視されます。

例えば、22233とJPシートでセットしたら、 過去2日前と1日前が陰線。それより前は、陽線でも陰線でもどちらでも構いません。 条件的には無視されますので。

トリッキーな設定だと、12222 この場合、過去5日前が陽線である。という条件になります。

■最大出来高、ハイローバンド

```
始[27983] 高[27983] 安[27662] 終[27778] 出[133329.0]

弾向き[5] 生短弾[-1.40] 生短弾向き[5] 生短/短弾[3]

弾向き[5] 生中弾[-0.51] 生中弾向き[5] 生中/中弾[3]

弾向き[5] 生長弾[2.35] 生長弾向き[5] 生長/長弾[3]

W向き[1] 出来倍[ 1.12] 最大出来高[0] 出来高比率[

M向き[3] 短M/中M[5] Mガイリ[ 1.08]

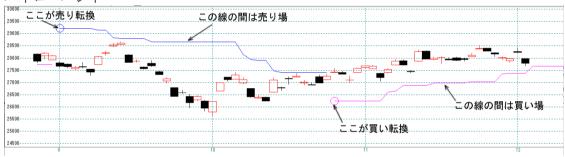
M向き[3] カインド[1] セコスト位置[4]
```

最大出来高の場合・・・1 最大出来高でない場合・・・0

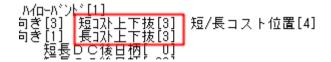
ハイローバンド

買い転換(赤丸のポイント)・・・4 買い場(赤線のポイント)・・・1 売り転換(青丸のポイント・・・5 売り場(青線のポイント)・・・3

ハイローバンド



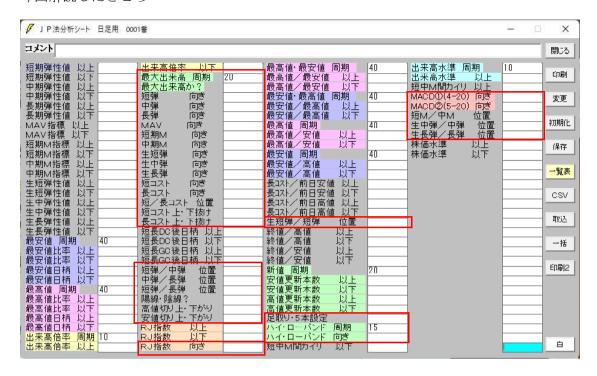
■コスト上下抜



短コスト(13日出来高加重移動平均線の事)上下抜 長コスト(26日出来高加重移動平均線の事)上下抜

上抜いた場合・・・1 下抜いた場合・・・3

今回解説したところ



向き、位置関係、切り上げ(下げ)、ローソク足型(陽線、陰線)、最大出来高、 ハイローバンド、上下抜け、についての数値の意味を解説しました。

これら数値の解説はホームページにあるマニュアル内にも載っています。 参考にされて下さい。

http://www.neuralnet.co.jp/user/manual/index.html